

## 第31回石川県道路安全・円滑化検討委員会

日時：令和8年3月13日（金）13:30～14:30

場所：金沢河川国道事務所 2階大会議室

### 出席者名簿

公立小松大学 教授 高山純一委員長  
金沢大学 人間社会研究域 教授 高橋涼子委員  
公益社団法人石川県観光連盟 副理事長（兼）専務理事  
一般社団法人石川県タクシー協会 専務理事  
一般社団法人石川県トラック協会 専務理事  
公益社団法人石川県バス協会 専務理事  
石川県婦人団体協議会 会長  
石川県警察本部交通部交通規制課長  
石川県教育委員会保健体育課長（代理）  
北陸信越運輸局石川運輸支局長  
石川県土木部道路建設課長（代理）  
石川県土木部道路整備課長（代理）  
石川県土木部都市計画課長（代理）  
金沢市土木局道路建設課長（代理）  
北陸地方整備局道路部道路計画課長（Web参加）  
北陸地方整備局金沢河川国道事務所長

### 議 事

#### 1. 交通渋滞対策について

- (1) 主要渋滞箇所の見直しについて
- (2) 新規開通道路の交通状況について
- (3) 近年における金沢都市圏の変化と交通特性
- (4) 関係機関が連携した渋滞対策について
- (5) 今後の進め方

### 議 事 要 旨

#### 【1. 交通渋滞対策】

##### (1) 主要渋滞箇所の見直しについて

- ・「国道159号 神谷内IC」を主要渋滞箇所から解除することについて承認された。
- ・「国道8号 環状福久交差点」を主要渋滞箇所へ追加することについて承認された。

##### (2) 新規開通道路の交通状況について

- ・委員より、国道159号羽咋道路の整備や国道8号加賀拡幅の整備により渋滞の解消が期待されるが、渋滞箇所が他へ移動することも懸念されるため、開通箇所周辺の交通状況をモニタリング

すべきとの意見を頂いた。

### (3) 近年における金沢都市圏の変化と交通特性

- ・委員より、金沢港エリアや白山エリアでは大型店舗や工業団地の立地が進み、交通の集中により渋滞の発生が予測されるのであれば、早目に対策を検討すべきとの意見を頂いた。
- ・委員より、金沢都市圏の道路パフォーマンス分析で改善余地がある箇所の対策としては、物理的対策だけでなく、当委員会ではコントロールできない内容にもなるが、フレックスタイム導入や週休3日制などのソフト的対策も有効と考えられるとの意見を頂いた。

### (5) 今後の進め方について

- ・委員より、観光の流動を考える際に、人流データを用いて金沢、加賀、能登の観光客の属性と思考を分析し、誘客を進めることが主流になりつつあるが、同様に人流データを活用し、朝夕の住民の通勤移動と日中のビジネス目的の移動を分けた分析を行っては如何かとの意見を頂いた。

### その他

- ・委員より、石川県内の自動車保有台数は、人口が減少している中でも、毎年増加傾向である旨、情報提供があった。

以上